

幡多の太陽

令和元年9月3日 第9号

2学期のスタートです！

「猛暑」「酷暑」「気温 40℃以上」「熱中症」「台風○号」「ゲリラ豪雨」などなど・・・この夏、何回、このような言葉をテレビや新聞で見たことでしょうか。今までにない大変な夏だったのではないのでしょうか。まだ日中は30度を越える日が続いています。一時の暑さに比べると過ごしやすくなってきました。朝夕の涼しさから季節が夏から秋に変わっていることを感じられるようになってきた今日この頃です。

2日から、2学期がスタートしました。1学期の終業式に、子どもたちには、「水の事故」「交通事故」にあわないように、という話をしました。全校児童25名が元気な顔を2学期の始業日に見せてくれました。それが何よりだと思います。2学期は、9月の秋季大運動会、10月の市内陸上記録会と市文化展などの作品づくり、11月の音楽交流会、12月のマラソン大会と、行事に追われる学期です。大変ではありますが、このような行事を通して子どもたちは力をつけていきます。2学期が終わるころには、きっと今以上にしっかりした子どもたちに成長してくれていると、思います。

避難所開設訓練ご参加ありがとうございました



校舎の玄関に設置された受付
(土佐清水市の幡陽小学校)

住民が避難所開設訓練
幡陽小 受け付け、誘導確認
土佐清水市

7月24日(水)午後の避難所開設訓練にたくさんの保護者の皆様や地域の皆様にご参加していただき、ありがとうございました。平日の午後ということもあり、参加が難しいのではないかと心配をしていました。子どもたちの作成したチラシや地域の皆様の声かけなどがあり、約80名の方の参加を得て実施することができました。課題がたくさんありました。今後の取り組みに生かしていきたいと思っています。

約80人が災害直後の手「受け付けには、もつと人がいる」な気分を確保した。同校は避難所に指定された。昨年度に地震発生時の放送を聞き、(頭を守るため)今初めて校区のの「ダンゴムシ」のボイスができた。など話していた。

大岐地区自主防の近藤義彦会長(72)は「足腰が悪い人はどうやって学校まで来るのか」と話していた。

(山崎彩加)

7月26日
高知新聞より

愛校作業 ありがとうございます！



数日前から天気予報とのにらめっこが続きました。8月25日(日)愛校作業が予定されていたのですが、天気予報では降水確率が50%以上になっていました。9月1日に延期したところで、その日にできるかどうかわかりません。できれば、8月25日にやってしまいたい…そんな思いが通じたのでしょうか。「小雨決行」としていたこともありましたが、当日の天気予報では、2ミリ程度の雨が午前中少し降る程度で「曇り一時雨」ということでした。朝6時に実施するかどうか判断しなければならないということでしたので5時20分ごろ自宅を出ました。四万十市市街地は雨が降っていませんでしたが、津蔵淵付近から雨が降り始め、伊豆田の坂では雨らしい雨になってしまいました。不安…。学校に着いても少し小雨が降っていました。グラウンドはそれまでの雨のためびしょびしょの状態でした。天気予報などの情報をもとに、教頭と話し合い、実施することとしました。保護者の皆様の中には、「こんな天気の中、やるの。」と思われる方もいただろうと思います。このような天気でしたので、人も集まるか不安でしたが、多くの保護者の方や児童が集まってくれ、とてもうれしかったです。この日は気温が低くて、作業をするには良い日でしたが、作業の途中で小雨がぱらついたり、グラウンドがびしょびしょだったために作業がやりにくかったことだと思います。このような状況の下、一生懸命愛校作業に取り組んでいただいたおかげでもすっきり、そしてきれいになりました。気持ちよく、2学期を迎えることができました。本当にありがとうございました。

また、この日は、運動会用のマストを立てたり、サッカーゴールの移動の作業などもお父さん方にはしていただきました。ありがとうございました。



秋季大運動会

9月22日(日)

9:00 ~ 15:30

雨天順延

たくさんの地域の皆様のご来校をお待ちしています。

